

目 次

地 図
写 真
略語表
要 約

第1章 評価調査の概要	1
1-1 本調査の背景と目的	1
1-1-1 本調査の背景	1
1-1-2 本調査の目的	1
1-2 本調査の枠組み	2
1-2-1 基本方針	2
1-2-2 留意事項	2
1-2-3 評価対象と評価設問	2
1-2-4 評価手法と手順	4
1-3 本調査の制約	6
1-4 調査団員の構成	7
1-5 現地調査日程	8
1-6 主要面談者	10
第2章 チュニジアにおける南南協力の概要	17
2-1 チュニジアが南南協力を実施する目的	17
2-2 チュニジアによる南南協力及び JICA による支援の実績	18
2-2-1 チュニジア南南協力全体の実績	18
2-2-2 JICA 南南協力支援の実績	20
2-2-3 チュニジア南南協力の資金源	21
2-3 チュニジア南南協力支援の実施体制・方法	22
2-3-1 関連主要機関	23
2-3-2 プロセス	24
2-4 チュニジア南南協力支援案件の概要	26
第3章 事例分析	33
3-1 調査案件の位置づけ	33
3-1-1 実施国	33
3-1-2 受益国	35
3-2 調査案件の実施とその結果	38
3-2-1 協力内容の理解	38
3-2-2 協力内容の活用	42

3-3	調査案件のインパクト	46
3-3-1	受益国におけるインパクト	46
3-3-2	実施国におけるインパクト	51
3-4	「JICA 課題別指針」による機能5分類	52
第4章 アンケート調査結果に基づく分析		56
4-1	調査の目的	56
4-2	調査方法	56
4-3	調査結果	58
4-3-1	受益機関における位置づけ	58
4-3-2	案件形成のプロセス	59
4-3-3	調査案件の実施とその結果	59
4-3-4	他の協力形態との比較	66
4-3-5	実施機関と受益機関の優劣	69
4-3-6	南南協力の将来計画	70
4-3-7	継続性	70
第5章 5項目評価		72
5-1	妥当性	72
5-1-1	JICA 南南協力支援と関係国の政策との整合性	72
5-1-2	JICA 南南協力支援の手段としての妥当性	73
5-2	有効性	78
5-2-1	受益側における南南協力支援の目的達成度	78
5-2-2	ドナーとしてのチュニジアの発展	79
5-3	効率性	80
5-3-1	成果と投入・活動の適切性	80
5-3-2	他ドナーとの連携・協調	81
5-3-3	コスト	82
5-4	インパクト	83
5-4-1	受益側	83
5-4-2	実施側	84
5-5	自立発展性	84
5-5-1	受益国における正のインパクトの継続性	84
5-5-2	実施国における南南協力事業の自立発展性	87
5-6	総合評価	89
第6章 課題・グッドプラクティスと提言		90
6-1	南南協力支援の課題と提言	90
6-1-1	南南協力支援の位置づけについての課題と提言	90
6-1-2	他の協力形態との重複における課題と提言	91

6-1-3	協力内容の理解・活用度における提言	92
6-1-4	投入と活動における課題と提言	94
6-1-5	インパクトにおける課題と提言	95
6-1-6	自立発展性における課題と提言	96
6-2	南南協力支援のグッドプラクティスと提言	96

付属資料

1.	他ドナーによる南南協力支援	101
2.	アンケート調査票	
2-1	第三国研修員対象、英語	106
2-2	第三国研修員対象、仏語	116
2-3	第三国専門家のC/P対象、英語	127
2-4	第三国専門家のC/P対象、仏語	137
3.	モロッコ第三国研修とチュニジア第三国研修との比較	148